

◆2014年度 助成団体一覧

団体名	所在地	助成額(万円)	助成金使途
子どもセンター ぼると	新潟市	100.00	「子どもシェルター事業」 NPO法人を運営主体として、平成26年度内に新潟市内に「子どもシェルター」を開設、運営する。当事業は、虐待その他適切な保護を必要としつつも、帰る家のない子どもを迎え入れ、子どもの安全を守る居場所として、新潟に「子どもシェルター」を設立することを目的としている。
NPO法人 骨髄バンク命のアサガオにいがた	加茂市	100.00	「支援ハウス(仮称)リフォーム」 新潟市中央区の一軒家を寄付していただき、患者家族の宿泊施設として利用することにした。必要最低限の家電や家具などを残し片づけたが、浴槽が古いため安心して使ってもらえるようリフォームを行う。
特定非営利活動法人 おりづる	上越市	80.00	「就労移行支援・就労継続支援B型施設移行への施設改修」 築36年経過しての老朽化と非効率な厨房等を改修して効率の良い職場にする。
NPO法人 新潟マック	長岡市	70.00	「グループホーム雨漏り修繕工事」 グループホームの老朽化による雨漏り修繕の為に屋根工事を行う。新潟マック パットハウスは、平成22年に既存建築物(築45年以上)の物件を賃借し、グループホームとして使用するためのリフォームを行い、住居として使用しているが、雨漏りが発生しその修理費用。
チャイルドラインにいがた	新潟市	64.00	「自殺相談に関わる体制作りとトレーニングプロジェクト」 自殺防止対策について講座開設と訓練。受け手フォロー体制強化のためのシステム構築とスーパーバイザーの育成。
みらいずworks	新潟市	60.00	「にいがた高校生「シゴトSTAY」プロジェクト」 新潟に住む高校1年生、2年生に向けて「シゴトSTAY～体験の一步先へ～」と題し、夏休みを中心として3回のプログラムを企画する。プログラムは、学校での職場体験やインターンシップから一歩踏み込んで、自分のみらいを切り拓くために、少人数密着型でシゴトのプロセスと成果を体験できるものとする。また発見や成長過程を蓄積できるノートブックを作成・活用し高校生の自発的な次なるステップへつなげる。
特定非営利活動法人 新潟ブルーサークル	見附市	60.00	「医療カフェ、健康教育事業(新規)」「糖尿病友の会の運営、糖セミナー運営、世界糖尿病デー啓発イベント開催(継続)」 1. 患者の会、友の会の運営 2. 健康増進、疾病予防のセミナーやイベント開催 3. 地域や学校で講演会や見学会の開催による健康教育事業 4. まちづくり、仲間作りを目的とした医療カフェの運営 5. 新しい働き方を提案する場としてボランティアの教育事業 6. 医療機関、介護施設、企業と専門職をつなげる紹介事業 7. 専門職の技量向上のためのセミナーやイベント開催
特定非営利活動法人 ボランティア亀田	新潟市	60.00	「がっとかむかめだリニューアル 商店街のフードコート」 亀田本町商店街の中心に位置する「がっとかむかめだ」は伝統工芸品の展示販売と高齢者の居場所に特化した店舗であり、イベントや地域活性化事業の拠点としては制限が多かった。また若者も無償で実務にあたり活性化ノウハウを身につけても定着が厳しい現状がある。今回の改装により調理販売の要件を満たし、設備拡充により事務局機能が強化され若者が働くことができる店舗とする。
特定非営利活動法人 NPO魚沼ゆうき	十日町市	50.00	「官民協働による生ゴミ堆肥生成機のリユース整備事業」 稼働していなかった聖籠町所有の生ゴミ堆肥生成機の払い下げを受け、当法人が源となり関連団体の諸力結集し、不要となった生ゴミ堆肥生成機のリユースを図ることにより、個性豊かな付加価値の高い有機農業の継続的な促進と官民協働した循環型社会の構築を目指す。
介護の社会化を進める新潟県の会	新潟市	48.00	「講演会・シンポジウムの開催」 介護保険制度見直しに関する講演会・シンポジウムの開催
りてらこや新潟	新潟市	40.00	ダブルリミテッドに陥ることを防ぎ、将来日本でも、母国でも就労でき多文化社会の構築を支える人材を育成することを目指す。具体的には、日本語が母国語でない生徒で学習が遅れている生徒の補習を行い、将来に夢を持てるようにする。学年相応の教科学習についていけない児童生徒を対象に、学校での取り出し授業、放課後の自宅学習の支援、長期休みの勉強会を行う。
特定非営利活動法人 支援センターあんしん	十日町市	30.00	「ペレット燃料計量用ホッパー新設工事」 十日町の基幹産業である「キノ栽培」から排出される廃菌床をペレット燃料に製造するための移動式ペレットプラントを整備し、26年度中に燃料の販売を目指す。ペレット燃料を販売するに当たり、計量・袋詰めのためのホッパーが不可欠であり整備を行う。
特定非営利活動法人 子ども・人権ネットCAP・にいがた	新潟市	30.00	「赤ちゃんを持つ親に対する「CAPママカフェwith Baby」の開催と啓発グッズの作成 小児科医院・子育て支援センター等を会場とした「CAPママカフェwith Baby(赤ちゃんと一緒にゆったりした雰囲気の中で楽しく学ぶ、新しいスタイル)」の開催。啓発グッズとして、母子手帳にはさむ「ブックマーク」を産婦人科医や小児科医の意見を反映して作成し、産婦人科、小児科、子育て支援センター等で配布する。
青山保安林まもり隊	新潟市	28.30	松林内の雑木を伐採したあと、翌年切株より新芽が再生したり、切株が多数あることから散策の障害になることがわかった。このため切株の除去が必要であることから、根切りチェーンソーを導入し切株の除去により安全・安心して散策できる松林としたい。これまで伐採した雑木の根株を除去するため専用の根切りチェーンソーを導入し伐採の終わった約4ヘクタールの根株を年間を通じて除去する。
特定非営利活動法人 子どものオンブズにいがた	新潟市	26.30	「子どもの人権救済にかかわる講演会の開催(継続事業)及び相談調整活動を行うスタッフ養成講座の開設(新規)」 依然として後を絶たないいじめ等の人権侵害に苦しむ子供・保護者の救済に役立てるため、いじめの背景を探る講演会等の実施で啓発活動を行う。また、相談・調整活動を行うスタッフが不足しているため、スタッフ養成講座を開設して、人権救済の活動を拡充していく。
NPO法人 eばしよ結屋	新潟市	22.00	農業就業人口の高齢化および減少に伴って、農業後継者に継承されないまたは担い手に集積されない柿畑を借りて、障がいを持つ人と共に自然の中で働き、収穫することの喜びを味わい社会に貢献することを目的に、JA越後中央農協の協力を得て、角田山麓の柿畑10aで柿を収穫、干し柿を作り販売する。
特定非営利活動法人 五泉トゲソの会	五泉市	20.00	「トゲソの観察会と坂田家一般公開及び文化講演会」 絶滅危惧種トゲソの生息現地において、湧水やトゲソを観察してもらい、現状の課題や環境保全について理解を深めてもらう。国の登録有形文化財「坂田家」を公開することにより、地域文化財(建築物・磁器・書画等)の保存理解と利活用を促進すること。
特定非営利活動法人 女のスペース・にいがた	新潟市	20.00	「第二ステップハウス移転に伴う資金」 当法人はシェルターと第一ステップハウスと第二ステップハウスを運営しているが、第二ステップハウスが諸事情により12月末をもって契約終了となり、引き続き運営を維持することを目的にふさわしい移転先を確保し、移転する。
にいがたフェアトレード推進委員会	新潟市	20.00	新潟市民がフェアトレードを理解しその理念を日々の生活や経済活動に取り入れていくことを目的に、チラシ・フェアトレードマップの作成、ファッションショーの実施、中学・高校・大学等での出張授業を行う。
特定非営利活動法人 しば草会	新発田市	17.00	地域住民やボランティア団体等に精神に疾患を抱える人々を理解してもらい、広く市民等に情報の発信のための冊子を作成。また精神障がい者の人たちがリラックスして休憩できるふれあいルームの環境を整えるため暖房器具を購入。併せて老朽化したパソコンの更新を行う。
合計(20団体)		945.60	